



いきいき貯筋倶楽部

健康寿命の延伸を



◆医療費を抑制したい

問 市民の健康寿命を延伸し、医療費抑制につながるロコモ予防トレーニングを取り入れないか。

答 いきいき貯筋倶楽部や元

保健サポートなど、農業再生として、農地集積協力金事業、農業再生プロジェクト推進事業、有害鳥獣対策など。信州Fパワープロジェクト推進事業を重点化した。

問 デフレからの脱却を目指した予算だ。雇用拡大、賃金上昇を受注事業者や業界に働きかける考えは。(中村)

答 あらゆる席で申し上げることは市長の責務と考える。

気づくり広場などで筋力アップ体操や市独自の手ぬぐい体操などに取り組み、介護の一次予防をし、ロコモティブシンドローム起因患者を増加させないようにする。

◆健康マイレージ制度導入

問 制度導入すれば、健康づくりとポイント寄付の一石二鳥で、例えば学校運動用具寄付など社会貢献になるが、市の考えはどうか。(西條)

答 マイレージ制度は市民の自主的健康づくりのインセンティブである。健康づくりに効果・達成感に繋がる有効な手段であり、他市を参考に調査・研究していきたい。

◆老人介護施設の安心安全について

問 ウイルス感染予防はできているか。(西條)

答 利用者も含め全施設へ再



えんぱーくにある子育て支援センター

度安全指導する。

◆大腸がん検診の推進を

問 大腸がんは死因の第一位であり、検診は有効である。今後の取り組みは。(山口)

答 平成25年度から国のがん検診推進事業を活用し、40歳から60歳までの節目の方に無料クーポンを配布し実施したい。

◆母子感染症防止の啓発

問 妊娠中のトキソプラズマやサイトメガロウイルスの感染は簡単な日常の注意で防げることを周知すべき。(宮田)

答 パンフレットの配布や妊産婦教室で予防の啓発を行う。

◆子育て支援センター

問 出産後の育児不安を軽減するために、妊娠中からセンターに足を運ぶ機会を作り継続した支援を。(宮田)

答 働きかけに努める。



受診率向上を目指す市の検診

納税の利便性を高める



◆コンビニ納税早期実現を

問 市税を納めたいが銀行などは時間制限があり不便を感じている。また自動車税はコンビニで支払うことができるが、軽自動車税はできず本市では不都合だ。サービスの拡大をはかるべきでは。(山口)

答 平成26年4月から実施したい。市県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税や、介護保険料と後期高齢者医療保険料が対象となる。

◆国民健康保険税は公平に

問 保険税の負担に「資産割」があるが、固定資産税を課せられている上に更に保険税の負担があり、不公平感を指摘されている。現状と今後の方針はどうか。(山口)

